

事例 2：小山栃木都市圏総合都市交通体系調査

(自動車と公共交通を組み合わせたソフト的なTDM施策の検討)

<本事例の特徴>

- 実態調査：交通手段利用の意識把握、公共交通サービス向上策等の効果分析を目的として、「行動実態調査（P T調査）」に加え「交通施策に対する意識調査」も併せて実施した。
- 施策提案：自動車と公共交通を組み合わせたTDM施策（P & R、レンタサイクルなど）の提案・検討を行った。
- 施策評価：施策評価のための交通行動モデル（代表交通手段選択モデル、経路・端末交通手段選択モデル）の構築を行って、提案されたTDM施策に対する定量的評価を実施した。

(1) 調査の全体構成

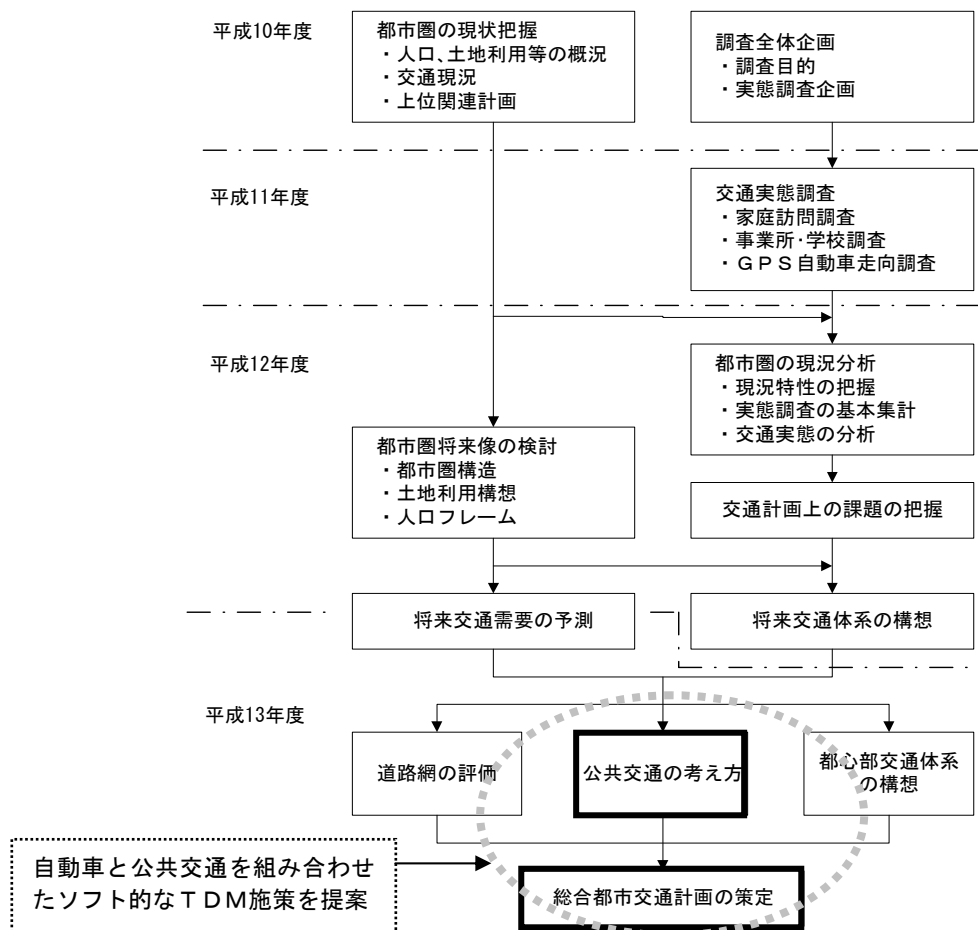


図 調査全体フロー（小山栃木都市圏総合交通体系調査）

(2) 実態調査体系

通常の交通実態把握調査に加え、交通対策による利用意向を把握することを目的とした意識調査も併せて実施している。

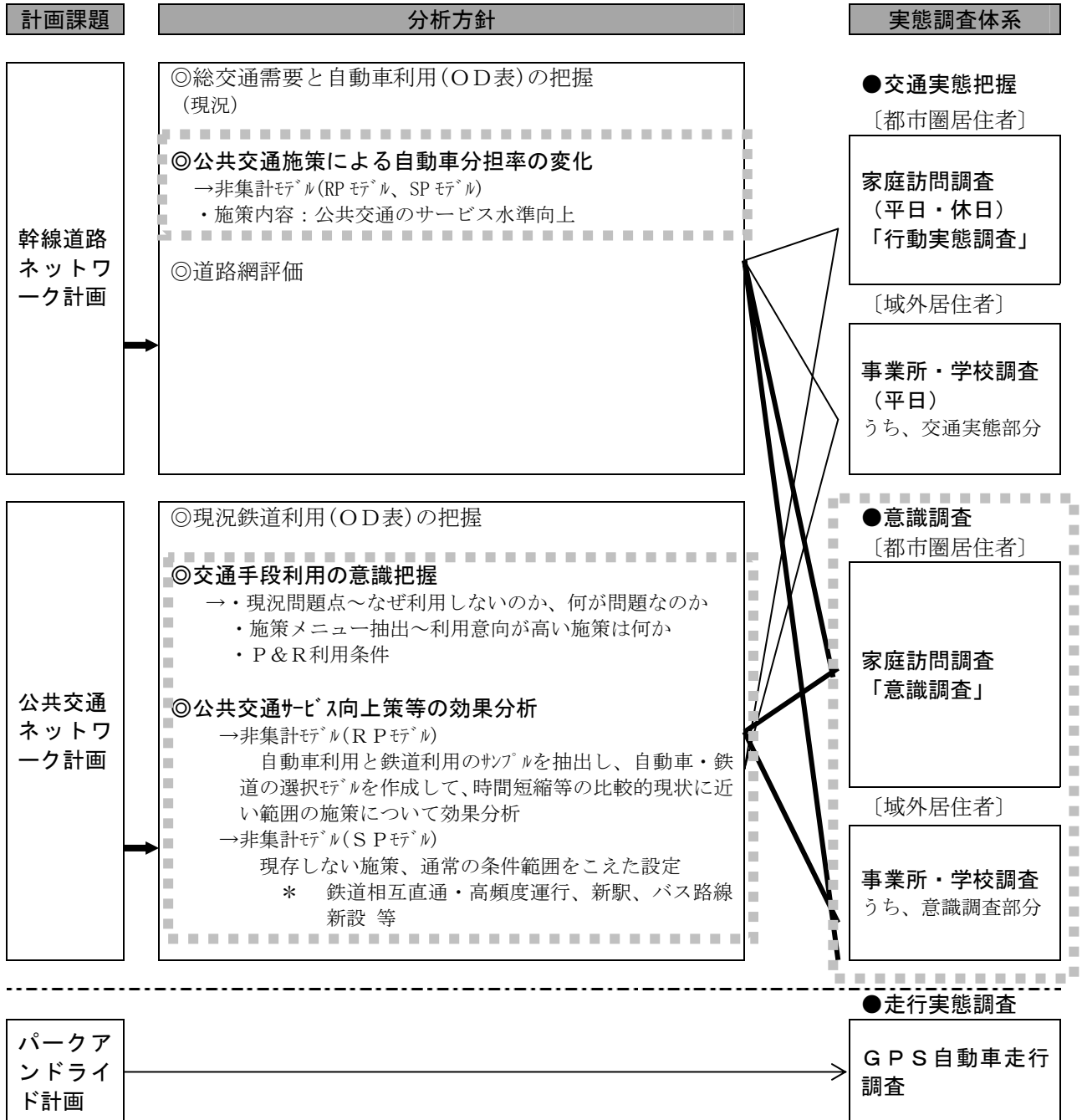


図 実態調査体系の設定 (小山栃木都市圏総合交通体系調査)

(3) 現況分析結果を踏まえた課題整理

現況分析および都市圏将来像の検討より、将来交通体系を考えるうえでの課題は以下のように整理された。

